				,									
科目名	三重を知ろうI			担当教員 (研究室番号)	難波浩子(203)他 担当教員 (研究室番号) 員、教養・基礎科目教 員)			教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	1年次 前期	科目区分					必修	単位数(時間)	1 (30)	授業形態	実習	科目等 履修生 オープ [°] ンクラス	否否
科目目的	地域で暮 を養う。												
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	- / フョン能力で行じている。 (ixhe											
	関連する DP	A 人間の生命・尊厳・権利を擁護する社会的基盤について理解し、倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) D 様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を理解し、多職種による 協働活動に参加できる。(技能・表現)											
到達 目標	1. ・												
成績評価方 (基準)	法	実習評価表に基づき、実習の状況・実習記録などから総合的に評価する。											
再試験の有無と 基準等		「実習の出欠席および追実習に関する取扱要領」の第4条に記載されている理由による1/4以上を超える欠席の場合に、追実習を認めることがある。再実習は行わない。											
教科書		看護学原論 I ・基礎看護技術 I のテキスト、配付資料、視聴覚教材など											
参考書等		必要に応じて紹介する。											
学生の主体性を伸ば すための教育方法と 学生への期待		さまざまな方々との出会いを大切にし、人々の生活や環境、看護について自分の考えを深めて下さい。これまでの経験や学内で学んだ知識や事前学習を土台にして、課題や疑問を地域や病院等で確認したり、実践したりして学習を深めましょう。 実習中は、同じグループの学生間でチームとして協力し合い、相互に学びを深めてください。											
備考													

学習内容

- 1.②三重県内の一地区と自分の居住地周辺地区
- 2.圆病院: (鈴鹿中央総合病院、三重大学医学部附属病院)

·迴病院実習では、履修生を前半・後半の2つに分け、1グループ6~8名(計15~16G)を2病院に配置して実施する。

▶実施内容

- 1.閏三重県内の一地区におけるフィールドワークと自分の居住地周辺地区の探索
 - ・湿三重県内で暮らす人々と交流することにより、地域(三重県)の特徴と人々の暮らしと環境や歴史・文化との関係を考察する。 また、自分とは異なる年代の人々の理解を深める。
 - 嗯居住地周辺の公共施設の場所や経路を探索することで、生活の視点で居住地域の現状を考察したり、他の地域と比較したりして 考察を深める。
- 2.②三重県知事講話
 - ・湿三重県の保健医療システムの概要と保健医療上の課題を知る。
- 3.②病院・病棟の見学、看護師のシャドウイング(2日間)
 - ·図病院の各設備や病棟の環境を見学することを通して、医療を支える多職種の理解や療養環境の実際を学ぶ
 - ·⑫看護師と患者との関わりの見学を通して、看護活動の実際を知り、看護師の役割について考える。
- 4. 学内での振り返り会
- ・1~3までの実習で学んだことをグループで振り返り、生活者としての人間を支える医療・看護について学んだことをまとめ、発表す

習 課

- 1. 事前・事後学習: 実習各回で指定された課題学習を行い、記録用紙にまとめる。 2. 指定されたテーマで最終レポートを記述する。 *詳細は「三重を知ろう I 要項」を参照のこと

実務経験を活かした教育の取組

病院実習では看護職として実務経験がある教員が実習グループを担当し、指導を行う。また、実習施設では実務指導者からも指導を受ける。